

きた北海道ルート



○道北地域におけるサイクルツーリズムを推進し、国内外から道北地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を目的とし、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイとが連携し、平成29年から活動を実施。

宗谷シーニックバイウェイ/天塩川シーニックバイウェイ(両団体が連携し活動)

- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等の検討を実施(関係自治体を含む意見交換会を実施)
- ・メンバー(観光協会、商工会、交通事業者、旅館組合、NPO団体等)

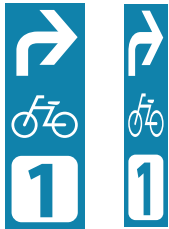
快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置。



(矢羽根型路面表示設置箇所の走行状況)



(案内看板シール)

○統一的なルート案内

- ・道路付属物(道路 標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に案内看板を貼付
- ・支柱がない箇所や設置河川管理用通路上では路面表示により案内。

サイクルツーリズム推進のための取組

○受入環境の充実

・地元関係者の協働によるオリジナルのサイクルラック製作・設置等、受入環境の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

- ・メカトラブル発見時にサイクリスト応援カーによる自転車工具等の無料貸出体制を構築する。
- ・地域の民間企業や運輸会社等との連携により、輸行サービスや緊急サポート体制、荷物輸送サービスの構築を図る。また、レンタサイクル等の移動サポート体制の構築を図る。

○情報発信(ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等)

- ・ルートの魅力周知のため、民間企業や自治体と連携しサイクリングイベントやモニターツアーの実施を進める。
- ・サイクリングマップやルート案内、ルートの起終点や立寄施設を含めた1日の行程がわかる「おすすりめルート」などを道の駅や空港等の拠点施設に掲示する。



地元関係者の協働によるサイクルラック製作・設置



サイクリスト応援カーによる自転車工具等の無料貸出



移動サポート(サイクルバス)による輸行サービス



モニターツアーの実施

全長約372km

